

# Mizuho Daily Market Report

2024/4/1

## 為替

通貨	アジア終値	NY終値	前日比	前週比*
JPY	151.42	151.35	▲0.03	▲0.06
EUR	1.0803	1.0790	+0.0001	▲0.0018
AUD	0.6506	0.6521	+0.0005	+0.0006
SGD	1.3490	1.3493	▲0.0010	+0.0007
CNY	7.2260	7.2224	▲0.0043	▲0.0068
MYR	4.7343	4.7250	▲0.0095	▲0.0115
THB	36.50	36.39	▲0.09	+0.02
IDR	15874	15855	+0	+75
PHP	56.32	56.22	+0.00	▲0.06
INR	83.38	83.40	+0.00	▲0.02
VND	24797	24791	+8	+21

## 金利

国債利回り	終値	前日比	前週比*
米国(10年)	4.200%	+0.0 bp	+0.2 bp
日本(10年)	0.727%	+1.6 bp	▲1.4 bp
ユーロ圏(10年)	2.298%	+0.0 bp	▲2.5 bp
オーストラリア(5年)	3.611%	+0.0 bp	▲8.0 bp
シンガポール(5年)	3.046%	+0.0 bp	+3.4 bp
中国(5年)	2.191%	▲0.9 bp	▲2.1 bp
マレーシア(5年)	3.631%	+4.9 bp	+6.3 bp
タイ(5年)	2.237%	▲0.1 bp	▲1.9 bp
インドネシア(5年)	6.599%	+0.0 bp	+7.3 bp
フィリピン(5年)	6.066%	+0.0 bp	+0.5 bp
インド(5年)	7.055%	+0.0 bp	▲5.6 bp
ベトナム(5年)	1.900%	+6.0 bp	+14.0 bp

## 株

株価指数	終値	前日比	前週比*
DOW(米国)	39,807.37	+0.0%	+0.8%
N225(日本)	40,369.44	+0.5%	▲1.3%
STOXX50(ユーロ圏)	5,083.42	+0.0%	+1.0%
ASX(オーストラリア)	4,338.05	+0.0%	+0.4%
FTSE(シンガポール)	3,224.01	+0.0%	+0.2%
SSEC(中国)	3,041.17	+1.0%	▲0.2%
SENSEX(インド)	73,651.35	+0.0%	+1.1%
JKSE(インドネシア)	7,288.81	+0.0%	▲0.8%
KLSE(マレーシア)	1,536.07	+0.4%	▲0.4%
PSE(フィリピン)	6,903.53	+0.0%	+0.3%
SETI(タイ)	1,377.94	+0.6%	▲0.2%
VNINDEX(ベトナム)	1,284.09	▲0.5%	+0.2%

## 商品

商品スポット・先物	終値	前日比	前週比*
CRB	290.29	+0.0%	+1.6%
金	2,229.87	+0.0%	+3.0%
原油(WTI)	83.17	+0.0%	+3.2%
銅	8,766.51	+0.0%	+0.1%

\*1週間前の終値と比較

## 【本日の予想レンジ】

USD/JPY	150.80	—	151.90
EUR/USD	1.0740	—	1.0950
AUD/USD	0.6490	—	0.6690
USD/SGD	1.3400	—	1.3530
USD/CNY	7.2050	—	7.2680
USD/INR	4.6460	—	4.8050
USD/THB	35.20	—	36.78
USD/IDR	15580	—	15900
USD/PHP	55.00	—	56.60
USD/VND	24,500	—	24,900

## 【本日の相場方向感】

USD/JPY	Bull (7)	>	Bear (1)
USD/SGD	Bull (8)	>	Bear (0)

Contact:  
Mizuho Bank, Ltd., Asia & Oceania Treasury Department  
Tel: 65-6805-4100

## 【為替】

アジア時間のドル円は151円台半ばでオープン。期末のフォローも入ってか東京仲値にかけて売りが強まり、一時151円台前半まで下落するも、一服するとほどなくして151円台半ばまで値を戻す。その後は多くの国が休場で、流動性が薄い中方向感を欠き、オープンと同水準の151円台半ばで海外時間に渡った。アジア通貨は小動き。多くの国が休場となり取引が控えられたことに加え、海外時間に米インフレ指標の発表を控え様子見ムードが強まる展開となった。

海外時間のドル円は151円台前半でNYオープン。NY朝方は米2月個人支出が予想を上回る一方、個人所得が減少し、PCEコア価格指数も予想と一致したものの、前月から低下していることが確認され、ドル円は下落。その後パウエル議長が利下げを急ぐ必要がないことを発言したことからややドルが買われる局面もあつたものの、市場参加者が減少し流動性が低下する中、閑散な取引が続き、結局151円台前半でクロスした。

## 【金利】

グッドフライデーのため休場

## 【予想】

本日のドル円は底堅い推移を予想。先週金曜日にパウエルFRB議長が早期利下げに対して慎重な発言をしており、ドルを下支えする要因となりそう。ドル円が上昇する局面においては円安けん制発言や介入に対する警戒感が高まることが想定されるものの、基本的にはドル買い優勢の展開を予想する。

## 【本日の予定】

(日本) 1Q 日銀短観  
(日本) 3月 製造業PMI (確)  
(アジア) 1Q シンガポール URA民間住宅価格(速)  
(アジア) 2月 フィリピン 財政収支  
(アジア) 3月 PMI製造業  
(アジア) 3月 インドネシア CPI  
(アジア) 3月 タイ CPI  
(アジア) 3月 中国 製造業PMI  
(アジア) 3月 豪 コアロジック住宅価格  
(米国) 2月 建設支出  
(米国) 3月 ISM製造業景況指数  
(米国) 3月 製造業PMI (確)

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定はお客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権は必ずしも銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。転送もお控えください。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。